



ももくさ

小松市立矢田野小学校 学校だより

令和6年11月7日

校長 しんみょう 新名 孝

## 11/1 授業参観・学校保健委員会等 ありがとうございました

先日は授業参観等ありがとうございました。

2学期より「つながる矢田野っ子」をスローガンに、教職員の共通理解を図り、教育活動を進めています。

児童の聴く姿、話す姿、考える姿に成長がみられたでしょうか？

児童が自分なりの考えをもととすること、自分なりの考えをもち、仲間との交流（話す⇔聴く）を通して、自分の考えに必要なことを加えたり、逆に不必要なものを削ったり、自分では気づけなかった視点から、考えを見直したりする学びの過程を大切にしています。

児童が学びを通してつながることで、「答は与えられるものではなく、自分（自分たち）で創っていくもの」を実感し、日常生活に生かして欲しいと思っています。

そのために、

- ・先生方は児童一人一人のよさを引き出し、認め、ほめることを大切にしています。

先生方からよく聞かれる言葉

「いいねー」「すごい」「素晴らしい」「その調子」「大丈夫」「がんばったね」・・・等

- ・教える前に問いかけるようにし、意欲を高めたり、気づきを促したりすることを大切にしています。

先生方がよく使っている言葉

「どうする？」「どうしたい？」「どういうこと？」「何でかな？」「どんな風に？」・・・等

誰かに言われて動くのではなく、自ら進んで行動したり、自分でよりよい行動を選択したりできる児童、場面を増やしていきたいと思っています。

今後も本校の教育活動に対するご理解ご協力よろしくお願いたします。

